

## ありたい姿と具体的な成果イメージ

- 移動困難や交通事故リスクで見ると、**わが国では総人口の約1／4が広義の交通制約者**であると考えられる。
- 本プロジェクトでは、「**すべての人に優しく、使いやすい移動手段を提供する**」ことを基本理念とし、路面電車と比較して遜色のない輸送力と機能を有し、かつ、柔軟性を兼ね備えたバスをベースとした都市交通システム「BRT:Bus Rapid Transit」に対し、自動走行の技術を取り入れることで、**市民にとってより魅力的な次世代都市交通システム「ART:Advanced Rapid Transit」の実現**を目指す。
- ARTは、段差や幅を最小限に抑えたバス停への正着制御機能により、**車いすやベビーカーの方が介助なしで乗降できる使いやすさ**を実現するほか、周辺の交通状況をふまえたスムーズな加減速機能により、**車内転倒事故防止**を図る。さらに、公共車両を優先する信号制御システムと連携することで、**定時運行性確保**を図る。
- 東京都では、都心から勝どきを経由して臨海副都心に至る地域において、選手村の後利用をはじめとしたオリンピック・パラリンピックを契機とする開発需要に柔軟に対応するため、「**都心と臨海副都心とを結ぶ公共交通に関する基本方針**」を策定し、BRTの導入を検討しており、この計画と密な連携を図る。
- ARTは、都市の規模にあわせたシステムを構築することも可能であり、すべての人に優しく、使いやすい移動手段を提供することで、**地方再生の足がかりとして期待**することもできる。

# 東京オリンピック・パラリンピック 次世代公共交通システム

自動車技術会 2015年春季大会 フォーラム資料抜粋

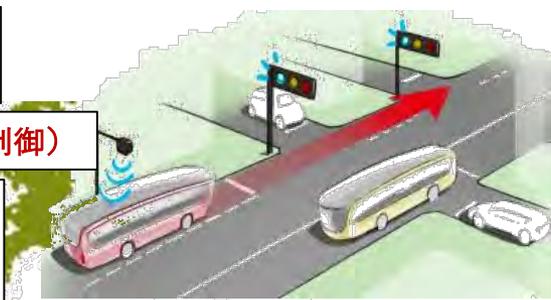


## ① 世界標準のアクセシビリティ (交通制約者への対応)

新幹線レベルのスムーズな加減速  
乗客転倒防止

乗降時間短縮、乗降安全性向上(正着制御)

乗降時間短縮、乗客の転倒事故防止  
・車椅子固縛装置  
・非接触自動課金



## ② 統合的速達性

速達性、定時運行性の向上(PTPS高度化)

事故低減、運転負荷軽減

交通流整流、渋滞・CO2低減

待ち時間最小でシームレスな乗継ぎ  
(運行システム)

・赤字: 自動走行技術を活用

